



城内小だより

文責 校長 古賀 弘行

【11月の学校の取り組み】

「令和の日本型学校教育」のモデル校として、子どもが主体的に学びを深めていく姿を研究発表会で公開する。



11月21日（金）研究発表会：県内外から350人の先生たちが本校の学びの様子を参観されました。

【1年 生活科「虹色おもちゃ秋パーティーを開こう」】



虹色おもちゃ秋パーティーで、園児さんに楽しんでもらおうと、秋のおもちゃづくりをしました。園児さんにとって、もっと面白くするために、GTの保育園・幼稚園の先生にも相談しながら、ルールやおもちゃの仕組みを工夫しました。園児さんのためにと考える姿は、お兄さんお姉さんの頼もしい姿でした。

【2年 算数「かけ算列車で、かけ算名人になろう」】



大勢の先生方の前でも、子どもたちは落ち着いて自分の選んだ7・8・9の段の九九作りを行いました。「全部で何個ゲーム」で友達にブロックの数を、「〇のいくつ分」で説明したり、練習問題では「なぜその答えになるのか」を図や言葉と式を結びつけながら説明したりする姿が見られ、とても頼もしく感じました。

【3年 理科「明かりをつける名人になろう」】



回路を確かめながら、明かりがつくおもちゃづくりやおもちゃ修理に取り組みました。自分のチャレンジ目標に向かって、「導線をどこにつなぐか」「スイッチを作るにはどうしたらよいか」等について、学んだことを想起したり、友達と話し合ったりしながら、意欲的に活動し、明かりがついたときは喜んでいました。

【4年 音楽「曲のよさが分かるキャッチコピーをつくろう」】



自分のチャレンジ目標に基づいて、さまざまな音楽の視点に注目しながら曲を聴き、フルートの音色の魅力が伝わるキャッチコピーを作りました。これからその曲を聴く人に「聴いてみたい」と思ってもらえるように、より良いキャッチコピーにしようと言葉を吟味し、表現を工夫していく姿が見られました。

【5年 社会科「未来工業会議を開こう」】



学級会のように司会を立てて、工業の未来を考える会議を開きました。子どもたちは工業の課題を出し合い、友だちの意見を聞き、深め合い、改善策を一緒に考えました。簡単に「解決した」と結論を出さず、設備や人材、コストなどの面から多面的に考えることができました。迷いながら考える姿こそが一番の学びでした。

【6年 マイテーマ学習「城内万博2025」】



マイテーマについて、12月の「城内万博2025」で、より説得力のある提案にするために、発表内容を付加・修正しました。自分のチャレンジ目標に向かって、GTや友達と協働的に学ぶ姿や一人で黙々と学び進める姿など、夢中に活動する姿が見られました。「もっと時間が欲しい」という子ども達の声が印象的でした。

＜参観者の声＞「どの教室も、話しているのは先生ではなく子ども達！こんなに先生たちが前に出てこない授業は初めて見ました。でも、先生はしっかりと子どもを見てありました！」これが、本校が目指す学びの姿です。